

社会医療法人 北楡会 札幌北楡病院 看護部 ジェネラリストラー

	レベル	ラダーⅠ	ラダーⅡ	ラダーⅢ	ラダーⅣ	ラダーⅤ
看護の核となる実践能力	レベル毎の定義	基本的な看護手順に従い必要に応じて助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する
	ニーズを とらえる力	<p>レベル毎の目標</p> <p>助言を得てケアの受け手や状況(場)のニーズをとらえる</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□助言を受けながらケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる</li> <li>□ケアの受け手の状況から緊急度をとらえることができる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>ケアの受け手や状況(場)のニーズを自らとらえる</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□自立してケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる</li> <li>□得られた情報をもとに、ケアの受け手の全体像としての課題をとらえることができる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえたニーズをとらえる</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる</li> <li>□得られた情報から優先度の高いニーズをとらえることができる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>ケアの受け手や状況(場)を統合しニーズをとらえる</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□予測的な状況判断のもと身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる</li> <li>□意図的に収集した情報を統合しニーズをとらえることができる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>ケアの受け手や状況(場)の関連や意味をふまえてニーズをとらえる</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□複雑な状況を把握し、ケアの受け手を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる</li> <li>□ケアの受け手や周囲の人々の価値観に応じた判断ができる</li> </ul>
	ケアする力	<p>レベル毎の目標</p> <p>助言を受けながら看護手順に沿ったケアを実施できる</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□指導を受けながらケアの受け手に基本的援助ができる</li> <li>□看護手順やガイドラインに沿って、基本的看護技術を用いて看護援助ができる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>ケアの受け手や状況(場)に応じた看護を実践する</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ケアの受け手の個性性を考慮しつつ標準的な看護計画に基づきケアを実践できる</li> <li>□ケアの受け手に対してケアを実践する際に必要な情報を得ることができる</li> <li>□ケアの受け手の状況に応じた援助ができる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえた看護を実践する</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ケアの受け手の個性性に合わせて適切なケアを実践できる</li> <li>□ケアの受け手の顕在的・潜在的ニーズを察知しケアの方法に工夫ができる</li> <li>□ケアの受け手の個性性をとらえ、看護実践に反映させることができる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>様々な技術を選択・応用し看護を実践する</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ケアの受け手の顕在的・潜在的ニーズに応えるため、幅広い選択の中から適切なケアを実践できる</li> <li>□幅広い視野でケアの受け手とらえ、起こりうる課題や問題に対して予測的および予防的に看護実践ができる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ケアの受け手の複雑なニーズに対応するためあらゆる知見(看護および看護以外の分野)を動員し、ケアを実践・評価・追求できる</li> <li>□複雑な問題をアセスメントし最適な看護を選択できる</li> </ul>
	協働する力	<p>レベル毎の目標</p> <p>関係者と情報共有ができる</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□助言を受けながらケアの受け手を看護していくために必要な情報が何かを考え、その情報を関係者と共有することができる</li> <li>□助言を受けながらチームのメンバーとしての役割を理解できる</li> <li>□助言を受けながらケアに必要と判断した情報を関係者から収集することができる</li> <li>□ケアの受け手を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる</li> <li>□連絡・報告・相談ができる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>看護の展開に必要な関係者を特定し情報交換ができる</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ケアの受け手を取り巻く関係者の立場や役割の違いを理解し、それぞれと積極的に情報交換ができる</li> <li>□関係者と密にコミュニケーションを取ることができる</li> <li>□看護の展開に必要な関係者を特定できる</li> <li>□看護の方向性や関係者の状況を把握し、情報交換できる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ケアの受け手の個別的なニーズに対応するために、その関係者と協力しながら多職種連携を進めていくことができる</li> <li>□ケアの受け手とケアについて意見交換できる</li> <li>□積極的に多職種に働きかけ、協力を求めることができる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>ケアの受け手を取り巻く多職種の力を調整し連携できる</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ケアの受け手が置かれている状況(場)を広げ、結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め主体的に多職種と協力し合うことができる</li> <li>□多職種間の連携が機能するように調整できる</li> <li>□多職種の活力を維持・向上させる関わりができる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□複雑な状況(場)の中で見えにくくなっているケアの受け手のニーズに適切に対応するために、自律的な判断のもと関係者に積極的に働きかけることができる</li> <li>□多職種連携が十分に機能するようにその調整的役割を担うことができる</li> <li>□関係者、多職種間の中心的役割を担うことができる</li> <li>□目標に向かって多職種の活力を引き出すことができる</li> </ul>
	意思決定を支える力	<p>レベル毎の目標</p> <p>ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□助言を受けながらケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に確認することができる</li> <li>□確認した思いや考え、希望をケアに関連づけることができる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ケアの受け手や周囲の人々の意志決定に必要な情報を提供できる</li> <li>□ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いを理解できる</li> <li>□ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いを多職種に代弁できる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴うゆがみを共有でき、選択を尊重できる</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスに看護職の立場で参加し、適切な看護ケアを実践できる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□適切な資源を積極的に活用し、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスを支援できる</li> <li>□法的および文化的配慮など多方面からケアの受け手や周囲の人々を擁護した意思決定プロセスを支援できる</li> </ul>
組織役割遂行能力	レベル毎の定義	責任の最も軽い、難易度の最も低い、軽微な組織の役割を果たす看護チームでは、チームメンバーの役割を理解し行動できる	組織のメンバーとしての役割が理解でき、部署の目標達成に向けて、基準や手順を順守した行動がとれる看護チームではメンバーシップを発揮できる	所属する部署で、組織的役割が遂行できる看護チームでは今日のリーダーや病棟の係活動においてリーダーシップを発揮できる	所属する部署で特殊または専門的な能力を必要とされる役割、または指導的な役割を遂行できる看護チームではチームリーダーとしての役割を遂行でき、看護単位の課題の明確化ができる	所属を超えて、看護部や病院から求められる役割を遂行できる看護単位の課題に対し、具体的解決を図れる
	チームで働く力	<p>レベル毎の目標</p> <p>助言を得てチームメンバーとして行動する</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□チームメンバーとして自分の思いや考えを相手に理解できるように伝えることができる</li> <li>□助言を受けながらチームのメンバーとしての役割を理解し行動できる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>チームメンバーとしての責任と自覚を持って行動する</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□チームメンバーとして自分の意見を伝え、相手の意見を聞くことができる</li> <li>□チームのメンバーとして部署やチームの取り組みを理解し、自分に与えられた役割を責任を持って果たすことができる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>今日のリーダーとしてチーム運営においてメンバーに働きかける</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□今日のリーダーとしてチームメンバーに関心をもちメンバーの意見を聞き、自分の意見を伝えることができる</li> <li>□部署目標やチーム目標達成に向けてメンバーに働きかけられる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>より良い部署運営のためにメンバー間の調整的役割を果たす</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□チームリーダーとしてメンバー間の協力体制をつくること</li> <li>□部署目標やチーム目標達成に向けてチームで取り組めるよう調整的役割を果たすことができる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>より良い部署運営のために中心となってメンバーの力を引き出す</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□チームリーダーとしてメンバーの能力を見極めながら必要な支援ができる</li> <li>□病院・看護部の方針を理解し部署目標やチーム目標達成に向けてメンバーの力を活用できる</li> </ul>
	創造的に考え実践する力	<p>レベル毎の目標</p> <p>助言を得て組織のメンバーとしての役割を理解し行動できる</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□助言を受けながら組織のメンバーとしての自身の役割を述べられる</li> <li>□助言を受けながら組織のメンバーとしての基準に基づき行動できる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>自ら組織のメンバーとしての役割を理解し行動できる</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□自ら組織のメンバーとしての自身の役割を述べられる</li> <li>□自ら組織のメンバーとして基準に基づき行動できる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>組織のメンバーとしての役割を基準を活用し状況に応じて遂行できる</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□組織のメンバーとしての自身の役割をどのように捉えているかを述べられる</li> <li>□組織のメンバーとしての役割を状況に応じて基準を活用し遂行できる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>組織のメンバーとしての役割を基準を活用し様々な視点で考え遂行できる</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□組織のメンバーとしての自身の役割をどのように捉えているかを述べられる</li> <li>□組織のメンバーとしての役割を基準を活用し様々な方法を用いて遂行できる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>組織のメンバーとしての役割を基準の意味を捉えながら創造的に考え遂行できる</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□組織のメンバーとしての自身の役割をどのように捉えているかを述べられる</li> <li>□組織のメンバーとしての役割を基準の意味を捉えながら既存の方法や慣習にとらわれずに遂行できる</li> </ul>
	倫理的に考え行動する力	<p>レベル毎の目標</p> <p>助言を得て倫理的に考え行動する</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□看護職の倫理綱領を説明できる</li> <li>□病院・看護部の理念・方針が説明できる</li> <li>□当院の職業倫理を説明できる</li> <li>□助言を受けながら自分が感じた倫理的ジレンマについて述べられる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>自ら倫理的に考え行動する</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□倫理的ジレンマを感じた時にチームに相談できる</li> <li>□倫理検討の場で自分の考えを述べられる</li> <li>□助言を受けながら倫理的問題に対する解決策を実践できる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>倫理的問題の解決に向けてチームと協働できる</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□倫理的ジレンマから倫理的問題を明確にチームに問題提起できる</li> <li>□倫理検討の場で自分の考えを自身の役割や責任に関連づけて述べられる</li> <li>□倫理的問題に対する解決策を実践できる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>倫理的問題の解決に向けて多職種と協働できる</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□倫理的問題や課題に対し多職種に意見を求めることができる</li> <li>□倫理検討の場で自分の考えを自身の役割や責任・多職種の役割や責任と関連づけて述べられる</li> <li>□チームメンバーや多職種とともに倫理的問題に対する解決策を実践できる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>倫理的問題の解決に向けて医療チームの中心となって行動する</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□倫理的問題や課題に対し、多職種を交えた倫理検討を主導できる</li> <li>□倫理的問題を顕在化し多職種とともに解決策を検討できる</li> <li>□医療チームの中心となって倫理的問題に対する解決策を実践できる</li> </ul>
	レベル毎の定義	自己の課題を指導によって発見し、自主的な学習に取り組むことができる	自己の課題を明確化し、達成に向けた学習活動を展開することができる	自己の学習活動に積極的に取り組むとともに、新人や看護学生に対する指導ができる	自己のキャリア開発に関して目指す方向に主体的に研究に取り組み、後輩のロールモデルとなること	単独で専門領域や高度な看護技術等についての自己教育活動を展開することができる
自己教育・研究能力	省察する力	<p>レベル毎の目標</p> <p>助言を得て日々の実践を振り返る</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□助言を受けながら日々の実践についてその行為に至った思考の過程と実際の行為を振り返り述べられる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>助言を受けながら日々の実践についてその行為に至った思考の過程と実際の行為を振り返り述べられる</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□助言を受けながら日々の実践についてその行為に至った思考の過程と実際の行為を振り返り述べられる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>自ら日々の実践を振り返る</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□自ら日々の実践についてその行為に至った思考の過程と実際の行為を振り返り述べられる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>助言を得て日々の実践を客観的に振り返る</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□助言を受けながら日々の実践についてその行為に至った思考の過程と実際の行為を様々な立場から振り返り述べられる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>自ら日々の実践を客観的に振り返る</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□自ら日々の実践についてその行為に至った思考の過程と実際の行為を様々な立場から振り返り述べられる</li> </ul>
	学び続ける力	<p>レベル毎の目標</p> <p>助言を得て自己の学習課題を発見し自主的に学習に取り組む</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□助言を受けながら、自己の学習課題を述べることができる</li> <li>□自ら進んで自己学習に取り組むことができる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>自己の学習課題を明確化し計画的に学習に取り組む</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□自己の学習課題を述べることができる</li> <li>□計画的に自己学習に取り組むことができる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>自己の学習課題を明確化し継続的に学習に取り組む</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□自己の学習課題を述べることができる</li> <li>□継続的に自己学習に取り組むことができる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>自己の将来像を描き実現に向けて継続的に学習に取り組む</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□自己の将来像の実現に向けて必要な学習を述べることができる</li> <li>□継続的に自己学習に取り組むことができる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>自己の将来像の実現に向けて必要な学習を述べることができる</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□自己の将来像の実現に向けて必要な学習を述べることができる</li> <li>□継続的に自己学習に取り組むことができる</li> </ul>
	看護を探究する力	<p>レベル毎の目標</p> <p>助言を得ながら日々の看護実践を支えるエビデンスを理解する</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□助言を受けながら自己の看護実践を支えるエビデンスを探索できる</li> <li>□助言を受けながら自己の看護実践のエビデンスを説明できる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>受け持ち看護師としての看護実践を考察する</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□受け持ち患者に行った看護実践の過程を述べられる</li> <li>□受け持ち患者に行った看護実践を考察し述べられる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>看護の質向上に向けて日々の看護実践に疑問をもち探究する</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□自分の関心分野に関する学術集に参加することができる</li> <li>□日々の看護実践に疑問をもつことができる</li> <li>□生じた疑問について調べ看護実践を意味づけし述べられる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>看護の質向上に向けて日々の看護実践において研究的視点を持つ</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□日々の看護実践で生じた疑問についての研究成果について文献検討できる</li> <li>□日々の看護実践に研究成果を活用できる</li> </ul>	<p>レベル毎の目標</p> <p>日々の看護実践で生じた疑問から研究疑問を設定できる</p> <p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□研究計画を立案できる</li> </ul>